



■ 私学経営見学会

特色ある私学経営につき現地見学会

■ 日時・見学先

【東日本地区】 定員 30名	2018年6月7日(木) 午後12時45分、上智大学 四谷キャンパス中央図書館8階821会議室集合 午後4時頃現地にて解散予定	見学先 上智大学 所在地 東京都千代田区紀尾井町7-1 (TEL. 03-3238-3172)
【西日本地区】 定員 30名	2018年6月15日(金) 午前10時45分、京都外国語大学 4号館6階 エレベーターホール集合 午後4時頃現地にて解散予定	見学先 京都外国語大学 所在地 京都市右京区西院笠目町6 (TEL. 075-322-6012)

- 上記いずれか、又は双方の見学会に参加できます。
- 昼食は、西日本地区のみご用意します。
- 参加は、1法人につき両会場あわせて2名様までとさせていただきます。

■ 主催



公益社団法人 私学経営研究会

本セミナーの概要

きびしい経営環境にめげず幾多の私学が一貫した長期ビジョンをもって学園の独自性を発揮し、学園の立地環境に適応した創意工夫を積重ねつつ発展をつづけておられます。

その経営の実情について現地学園を訪問し、理事者のご方針をお伺いしつつ、現場における貴重な実践の姿を見学させていただきます。

一般講習会では吸収できない生きた私学経営の姿に触れることのできる貴重な機会ですので、私学理事者・管理者の皆様の多数ご参加をお待ち申し上げます。

申込要領

- 申込方法 本会ホームページ (<http://sikeiken.or.jp/>) の「セミナー申込フォーム」からお申込みいただくか、Eメールに必要事項(参加日、学園名、住所、参加者の役職、氏名)をご記入のうえ、お申込み下さい。
※申込書に記載された学園名、ご住所、役職名、ご氏名等の個人情報は、参加証・請求書・領収書等の発送のために使用します。

- 申込〆切日 東日本地区……5月31日(木) 西日本地区……6月8日(金)
諸準備の都合上、お申し込みは見学日の1週間前まで〆切らせていただきます。
また参加申込後のご変更は至急お電話でお知らせ下さい。

- 参加料 本会の会員は1回ご1名様のみ無料です。ただし、追加ご1名様の参加料は5,400円です(消費税込)。なお、追加参加料は、銀行振込でセミナー開催日前までにお納め下さい。

- 振込銀行

三菱UFJ銀行	大阪駅前支店(当座 No. 0120188)
三井住友銀行	梅田支店(普通 No. 5815022)
みずほ銀行	梅田支店(普通 No. 1277449)
- 口座名
公益社団法人 私学経営研究会

- お問い合わせ先 公益社団法人 私学経営研究会 事務局
〒533-0033 大阪市東淀川区東中島1丁目21番33号 俵ビル3階
TEL. 06-6321-2666 / FAX. 06-6321-3207
E-mail: skkseminar@sikeiken.or.jp

＜東日本地区見学先＞

上智大学

(学校法人上智学院 理事長 佐久間 勤 先生)
東京都千代田区紀尾井町 7-1

(TEL. 03-3238-3172)

6月7日(木)午後12時45分 上智大学
四谷キャンパス中央図書館8階821会議室集合

〔JR中央線「四ツ谷」駅下車、徒歩5分〕

午後 学園ご関係者挨拶、大学の概要及び方針
のご説明、質疑応答の後、施設見学。
午後4時頃現地にて解散予定。

＜西日本地区見学先＞

京都外国語大学

(学校法人京都外国語大学 理事長 森田 嘉一先生)
京都市右京区西院笠目町 6

(TEL. 075-322-6012)

6月15日(金)午前10時45分 京都外国語大学
4号館6階 エレベーターホール集合

〔阪急京都線「西院」駅下車、徒歩15分〕

午前中 学園ご関係者挨拶、大学の概要及び方針
のご説明、質疑応答の後、昼食休憩。
午後 施設見学、午後4時頃現地にて解散予定。

学園のご紹介

学校法人 上智学院

聖フランシスコ・ザビエルの「日本のミヤコに大学」という願いから約360年、日本に高等教育機関を設立するという教皇ピオ10世からの要請を、カトリック・イエズス会は1906(明治39)年に受諾しました。その後3人のイエズス会員が来日し、1911(明治44)年に学校法人上智学院を設立しました。1913(大正2)年に上智大学が開校、2013(平成25)年には創立100周年を迎えました。

3学科、学生数15人から始まった上智大学は、現在、6つのキャンパス、9学部29学科、10研究科26専攻を擁し、約15,000人の学生が学ぶ、「小さな総合大学」に発展しました。また、1964(昭和39)年に上智社会福祉専門学校、1973(昭和48)年に上智短期大学(現 上智大学短期大学部)を開校しました。

さらに、2011(平成23)年には、学校法人聖母学園と法人合併し、聖母大学と聖母看護学校を併設(両校とも現在は閉校)。2016(平成28)年には、イエズス会系中等教育機関である栄光学園、六甲学院、広島学院、泰星学園(上智福岡)の4法人と法人合併を実現しました。ただし、各校とも上智大学の附属校とはせず、各校の伝統と教育方針を今後も維持・発展させていきます。

イエズス会系の学校は、Men and Women for Others, with Others(他者のために、他者ととともに)という共通の教育精神を有しています。また、上智大学創立100周年を機に、「叡智(ソフィア)は世界をつなぐ」という建学の理念を新たに定め、世界の人々と共に歩む「隣人性」と「国際性」を貫く教育機関として存立していくことを目標にしています。

上智学院は、2013年の創立100周年までの中長期の発展構想として「グランド・レイアウト」を2001(平成13)年に策定。また、2013年には、次の10年間を見据えた「グランド・レイアウト2.0」を策定しました。これらの中長期計画により、ガバナンス改革や学部・研究科等の設置、教育研究活動の充実を図っています。



学校法人 京都外国語大学

学校法人京都外国語大学は、終戦後間もない1947(昭和22)年5月18日、創立者森田一郎・倭文字夫妻の手によって開校した京都外国語学校をその前身としています。創立当時、何よりも求められたものは世界平和への貢献であり、その基盤としての国際的理解でした。この国際的理解を図る1つの有力な方法は、外国語を修得し、かつその言語圏の文化・経済・社会を知ることであると考へ、「PAX MUNDI PER LINGUAS—言語を通して世界の平和を—」を建学の精神としました。

学園の中核を担う京都外国語大学は、この精神に基づき、外国語及び国際社会と地域文化に関する教育研究を行い、世界平和に貢献することを目的としています。本学の教育の理念は「国際社会の平和に貢献し、次世代を担うことのできる『人間力』豊かなリーダーの養成」です。本学が求める「人間力」とは、「国際社会の一員としての責任を自覚し、教養豊かな魅力ある人間として力強く生きていくための総合的な力」のことです。

京都外国語大学・京都外国語短期大学は、京都市右京区の嵐山に程近い西院にキャンパスを構え、8言語学科を有する外国語学部、本年4月に開設した国際貢献学部の2学部と、夜間2年制の短期大学キャリア英語科を有し、約5,000人の学生が学んでいます。

学園創立70周年記念事業の一環として平成29年7月に竣工した新4号館は、地上6階建て、間口11.5m、奥行き70mという南北に細長い校舎で、キャンパスのほぼ中央に位置し、1階に外国語自律学習支援室NINJAやプレゼンテーションエリアなどを、2・3階には国際部やキャリアセンター、国際貢献学部の教育プログラムの中核を支えるコミュニティ・エンゲージメントセンターなどの教育を支援するオフィスが、3～5階にはフロアの一部をガラス面で仕切った新たなコンセプトで設けられた教室や、学生が自由に学習できる多様なフリーラーニングエリアを配する象徴的な建物となっています。

本学園は、京都外国語大学、京都外国語短期大学、京都外大西高等学校(京都市右京区)、京都外国語専門学校(京都市左京区)の4校を設置し、古都・京都の地で中等・高等教育を展開しています。

